

# 小田原

広

報

まちづくり情報誌

2001 1 月号  
1/1

平成13年1月1日発行  
No.786



## 2001 ODAWARA EVOLUTION

2001年小田原は進化する



## 新世紀特別企画



〈新春座談会〉

# 世界の幸せ 小田原から

あけましておめでとうございます。  
新世紀の始まりに、世界中が喜びで満ちあふれています。  
この記念すべき新春にふさわしく、市長・議長と青年海外協力隊として  
貴重な体験を積んだお二人が、小田原文学館で座談会を行いました。  
さあ！新しい時代の幕開けに、  
あなたもいっしょに夢と希望を膨らませよう。

### 地球の 反対から見た 小田原

市長 国際的に活躍をされてきた山口さんと乙部さんですが、現地の活動を通じてどんなことを感じましたか。

山口 グアテマラでは、教えたというよりは、教わることばかりでした。そして、難しい問題に直面するたびに何度も、小田原の「資産の豊富さ」や「可能性」をうらやましく思いました。これだけの「ポテンシャル」を持ち合わせているのだから、あとは人がアイデアを絞りだしてまちの能力を発揮させることが必要だと思います。夢の中に小田原のうまい刺身やひものが出てきて、うなされたときもありました。(笑)

乙部 私も教わることの方が多かったですし、「人間にとって大切なもの」「家族愛」など原点の部分も改めて学びました。パナマにも首都を少し離れただけで、豊かな山・海・川があるのですが、やはり私の育った下曽我の方がすてきですね。白梅に飾られた富士山など、この自然はどこにも負けないものです。

また、現地の日本人には、両親自家製の梅干しも大好評でした。下曽我の梅干しは世界的に有名になりました。(笑)

議長 お二人のように地域や社会に貢献できることは本当に幸せだと思います。それには、勇気や実行力、そして実現するための健康な体と心、考えようとする頭脳が必要になると思います。

しかし、山口さんや乙部さんが感じた小田原の魅力に私達が慣れてしまっていることは、とても残念なこともありません。



# 地方都市の戦国時代を勝ち抜こう

市長 そうですね。21世紀は、われわれがチャレンジ精神を持って「まちをもっと良くしよう」と今まで以上に思うことが必要になります。昨年4月に地方分権一括法により、国と地方は対等・協力関係となりました。これによって小田原を含めて地方都市は個性あるまちづくりができるようになったわけです。逆に言えば地方間競争の始まり、いわば「地方都市の戦国時代」の到来です。小田原は21世紀を勝ち抜かなくてはなりません。

議長 これからの社会は経済だけでなく、環境・教育・文化といったソフトの部分もさらに重要になると思います。

議長として、市民と綿密に情報交換を行い、知恵を絞っていく。そして小田原が独自の花を咲かせるように努力していきます。20世紀の既成概念にとらわれないことが必要なのです。

## 自分を磨け！夢を持って！

市長 ところで、21世紀の若者に何かメッセージを贈っていただけですか。

山口 「まず最初に自分が幸せになる」ことですね。そして、好きなこと、好きな人を見つけ、そのために自分でがんばる。私は福沢諭吉の「独立の気力なき者は、国を思うこと深切ならず」という言葉が好きです。各個人が人に頼らず、自分の好きなことのために一生懸



小澤良明市長



二見健一市議会議長

命やることが、実は社会の発展にとって最も大切だと思うのです。

市長 郷土の偉人二宮尊徳も、まず自分が豊かになって、そして他人に手を差し伸べなさいと説いています。少林寺拳法の言葉にも「自他共楽」という教えもあります。まず、小田原が豊かに、元気になることで、日本として国際社会にも貢献できるのだと思います。私は、昨年から「健康」と「教育」をまちづくりの柱に掲げてまいりました。「まちづくり」は「ひとつくり」。健全な心と健やかな体をもつ若者の個人の成長を願い、その人材をまちづくりに生かしていきます。

レイモンド・チャンドラーの「強くなければ生きていけない。優しさを知らなければ生きていく資格がない」という言葉どおりに、まさに強さと優しさを併せ持つリーダーの出現を期待します。

乙部 私は、若者に夢や目標をしっかりと持ってほしいと思います。私の経験によると、目標がある方が人生を歩みやすくなります。何事にも一生懸命になれます。また途中で目標が変わってもそれはそれで良い事だと思います。

議長 「人間は自分の夢以上には大きくなれない」という言葉があります。「夢を持つ」「あきらめない」ということはとても大切なことです。達成できなくてもあせることはありません。

小学校でできなければ中学校で、さらに高校、社会人と常に夢を追いつづけることが、新世紀を切り開いていくエネルギーとなるのです。



おとべ 乙部恵子さん

大学を卒業後、栄養士としてバナーに3年間任務。貧困地域において栄養指導はもとより、食物の栽培から衛生管理まで献身的な活動を行った。現在は、老人保健施設にじの丘足柄(南足柄)の栄養科長。自我岸在住。



山口匡さん

銀行に3年間勤務後、学生時代からの夢であった青年海外協力隊として、グアテマラへ2年間任務。現地の民芸品の開発及び市場拡大を支援するプロジェクトに取り組んだ。現在は、国際大学大学院(新潟)の国際経営学専攻科在籍。永塚出身。





後列中央が乙部さん。活動をともししてきたパナマの先住民族と。帰国時に、この衣装をいただいたという。

パナマ…太平洋と大西洋を運河でつなぎ、北アメリカと南アメリカを吊り橋で結ぶ国。人口250万人。北海道ほどの国土。首都パナマ市には世界の銀行が集まっている。

グアテマラ織の織手さん宅の夕食に招かれて心温まる時を過ごす山口さん。

グアテマラ…中央アメリカ。首都グアテマラシティは、近代的なホテルやオフィスが建ち並び人口100万人を超える大都市。マヤ文明のティカル遺跡は世界遺産に指定されている。

### 青年海外協力隊とは

アジア・アフリカ・中南米などの地域や人のため、自分の技術や経験を生かしたいという強い意思を持っている青年を派遣。昭和40年の発足以来、66か国へ2万人を超える青年を派遣。現在も約2千5百人の隊員が世界59か国で活躍中。小田原からは約40人が参加した。

市長 新世紀を迎え、小田原には「守っていかなければならないもの」と「変えなくてはいけないもの」があります。世

市長 最後には小田原に向けてのメッセージとご自身の抱負をお願いします。  
山口 魅力あるまちには多くの人が集まります。小田原に世界中から人材が集まってアイデアが集結すると、その積み重ねられた伝統が飛躍する可能性があると思います。小田原が世界中から人が集まるまちになるとすてきですね。私も自分の目標である国際協力の仕事に就き、がんばりたいです。  
乙部 小田原には今までどおりに、だけれどもホッとするあたたかいまちであり続けてほしいと思います。私は栄養士という仕事を選んで本当によかったと思えるよう、日々がんばっていきたいと思います。  
議長 今年ボランティア国際年です。私は、いままで地域においてさまざまな取り組みをしてきました。だれでも気軽

## 今の自分がある幸せ 未来の幸せのための 目標

の中の動きが、いくら激しくなってもそれを見きわめなければなりません。20万市民の方には小田原というまちを正當に評価していただけるように、地域を理解し、誇りと愛着をもってまちづくりに参加してほしいのです。そして、市民の総意、議会の協力のもと、未来の幸せを築いていくことが私に課せられた責務であると感じています。21世紀を迎え、小田原はますます国際色豊かになり、世界に向けて輝きます。未来を幸せにするのは、今の私達の行動なのです。





# 童謡のまち おだわら



小田原は「めだかの学校」や北原白秋の「赤い鳥小鳥」などの名作がたくさん生まれた童謡のふるさとです。

市制施行60周年を記念して開催されたフェスティバルでは、21世紀に歌い継がれる2つの新しい童謡が誕生しました。

問 広報広聴室 033 1261  
生涯学習課 033 1720

## 全国童謡フェスティバル

～白秋IN小田原～

### 小田原男声合唱団に栄冠



↑最優秀賞 小田原男声合唱団

↓特別賞 西大友保育園



11月26日(日)に市民会館で全国童謡フェスティバルが開催されました。歌唱コンクールでは、北海道から九州まで、全国488人の中から選ばれた16組が熱唱し、地元出場者の活躍に歓声があがりました。全国から732点もの応募があった創作童謡詩コンクールでは最優秀作品に曲がつけられ、これから歌い継がれることを願って披露されました。

#### 創作童謡詩コンクール最優秀作品

「ねずみがかじる」には小田原城下町大使の石井歡さんが、「いつもの道」には湯山昭さんが曲をつけました。21世紀にも歌い継がれる新しい小田原の童謡です。

#### 中学生以下の部 最優秀作品

ねずみがかじる

山森 さつき(品川区立原小学校1年)

ねずみがかじる なにをかじる  
にんじん かじる なんてかじる  
うさぎに になりたい あっそう

ねずみがかじる なにかじる  
キャベツをかじる なんてかじる  
ぞうに になりたい あっそう

ねずみがかじる なにかじる  
おうちをかじる なんてかじる  
ねずみに になりたい あっそう

#### 一般の部 最優秀作品

いつもの道

富永佳与子(千葉県松戸市・児童文学作家・53歳)

ちいさいころから 歩いてる道  
いつもの道  
鬼ごっこで ころんで泣いて  
ひとり帰った 細い道  
えのころぐさが ゆれていたね  
となりの子犬が 見ていたね  
わたしのことを 知っているいつもの道  
いつもの道

今でも毎日 歩いてる道  
いつもの道  
あの子への 手紙をもって  
ポストにかけてく 細い道  
きんもくせいがか 咲いているね  
あき地で子ねこが 見えているね  
わたしのことを 知っているいつもの道  
いつもの道

## 小田原発 童謡コンサート IN 東京ステーション

小田原少年少女合唱隊&マルベリー・チェンバークワイアによる童謡コンサートを11月30日に東京駅にて行いました。

懐かしい歌や小田原生まれの新作童謡「ねずみがかじる」「いつもの道」など美しいハーモニーが大正ロマンの駅舎にこだまし、家路を急ぐ皆さんの人が足を止め聞き入っていました。



「めだかの学校」や北原白秋の童謡「ベチカ」揺籠のうた」など艶やかな着物姿でしっとりとした歌い上げました。



ボランティアを  
考える

# 2001年は ボランティア国際年

国連では、2001年をボランティア国際年と宣言し、  
ボランティア活動に対する啓発・促進・環境整備・情報の  
ネットワーク充実などを図っていかうとしています。

21世紀は、社会の成熟化に伴い、ますます市民活動が活発化していくことでしょう。  
さらに地方分権による各自治体の主体的かつ特色あるまちづくりが求められる中では、  
行政と市民の協働のまちづくりが重要になっていきます。  
あなたもこの機会に、ボランティアについて考えてみましょう。

おだわら市民活動  
サポートセンターが  
4月にオープン

市民交流課 33 17 03

おだわら市民活動サポートセンターは、福祉、社会教育、まちづくり、環境など、あらゆる分野の市民活動をサポートする施設です。活動のための打ち合わせや、作業、情報収集・発信、他団体との交流の場としてご利用いただけます。

また、「ボランティア活動に興味はあるが、何をしたらよいかわからない」というような方もぜひご利用ください。

●場所 市民会館4階

●利用時間 9時～21時30分

(ミーティングルームと、ロッカーの使用については、予約制です。)

●休館日 月曜日・国民の祝日の翌日  
(市民会館と同じ)

●対象 自主的で営利を目的としない社会貢献活動を行う団体等(ただし政治・宗教などの活動には利用できません)

●施設の内容

無料でご利用いただけるものは

ミーティングルーム2室・交流サロン・ワーキングコーナー・情報コーナー・展示コーナーなど  
有料でご利用いただくものは

印刷機(製版1枚1000円)

コピー機(1枚10円)

ロッカー(1カ月大3000円・小2000円)

※申込方法などについては、「広報おだわらいふ」2月15日号でお知らせいたします。

ボランティアの強い味方  
社会福祉協議会に相談しよう!

社会福祉協議会 35 40 00

社会福祉協議会にはボランティアセンターを開設しています。このセンターでは、活動に関するさまざまな情報提供や講座開催、相談などを行っています。また、寄せられた寄託金品はボランティア活動などに有効に使っています。

●ボランティアを知ろう

福祉施設一日体験学習やボランティア育成推進などいろいろなボランティアを知ることができます。また、手話・録音・要約筆記・朗読・点字などメニューも盛りだくさん。

●ボランティアは82グループと314人

82のグループが、地区・障害者・高齢者・青少年・外国人などに対して奉仕活動を行っています。また、314人が個人登録をして、イベントの手伝いや障害者の外出介助、高齢者の話し相手など幅広いボランティア活動を行っています。

市民福祉大学 募集

ボランティア活動が生み出す新しい社会

場所 マロニエ

定員 100人・先着順

時間 13時30分～15時

●1月31日(水)「NPOとボランティア」

●2月27日(火)「21世紀を育む、子どもたちのためのボランティア活動」

●3月23日(金)「地域福祉とボランティア」

申込 1月5日(金)から、  
社会福祉協議会 35 40 00



## ボランティアを考える

# ドキドキ体験 録音ボランティア

広報レポーター  
中川則子さん(板橋)



### 録音奉仕ってなに？

録音奉仕活動の歴史は戦前の点訳にさかのぼり、中途失明などで点字が使えない人のために有志が集まって録音を行うようになったのが始まりと言われている。時代の変遷とともに便利になる録音機器を使いこなし、現代用語とも向き合わねばならない、まさに時代を先取りするボランティア活動であるといえる。

それでは録音奉仕とは具体的に何であろうか。『視覚障害者のための本の朗読』と答えてがちだが、それは活動のほんの一部であり、実際にはもっと生活に必要不可欠な情報、たとえば健康カレンダー、ごみ収集日カレンダー、広報おだわらといった数多くの印刷物を音声に変えて提供するという、ボランティアと呼んでしまうにはあまりにも責任の重い、福祉行政の仕事にもすべきほどの価値のある活動である。本が好きなら、文字が読めれば、すぐにでも役に立てると簡単に思ってしまうそうになるが、残念ながらそうはいかない。

まず呼吸法から始まり、次に発音、発声、そして声の適性も重要な条件となる。さらには、朗読ではなく音声訳であることの認識、正しい日本語への関心を持つこと、日常においても正しい表現方法を心がけること、などなど実に多方面にわたったのしつかりした心構えが必要とされるのである。



### いざ、体験。すぐ降参！

実際に録音を体験させていた。まず背すじをまっすぐに。心音が入ってしまうので体は机に付けず、マイクと口の間隔は一定に。ここまでで全身が固まってしまった。首を動かさずに目だけで原稿を追う。フレーズの途中で息が続かなくなってしまう。できるだけ長く、お腹から声を出したら読めない文字が。ただちに降参してしまった。「声の質は良い」と褒めていただいたが、とてもとても一朝一夕には取り組めない作業であると感じた。これだけハードな活動は、軽い気持ちでちよっと片手間にできるようなものではないというのが正直な感想である。音声訳というものに一定の基準がある以上、ボランティアを希望する人への選考がある程度厳しくなるのはやむを得ないことなのかもしれない。

「でもね」と山口智子さん。

「視覚障害者へのボランティアは録音奉仕、点訳だけではないのです。スポーツクラブの手伝い、ガイドヘルパーなどたくさんあるので、もっとボランティア活動全体に目を向けてほしいのです」と。

### 何ができるか。それが大事

『自分は録音奉仕には向いていない。だからボランティアはできない』ではなく『録音奉仕には向いていない。ではほかに何があるのか。何ができるのか』というように意識を持つていくことが、福祉社会の一員として前へ進むための手段ではないだろうか。

ボランティア、バリアフリーは常に、法やジレンマとの戦いでもある。車椅子にとつて困りものの段差も、白い杖の人にはなくてはならない場合もある。だれもが安心して暮らせる環境は、まだ目に見えないほどはるか遠くにある。しかし、人は助け合い、支え合わなければ生きていけないのであるから、試行錯誤でもかまわない、少しずつでも進むべきであらう。

ボランティアに携わる人はそれぞれに小さなバリアフリーの精神を持っている。せっかくの21世紀、全部まとめて一つの形に表現できたらなあというの、私の夢のひとつでもある。



小田原市録音奉仕会  
山口 智子さん(中里)



# 学校が変わります 「総合的な学習の時間」

問 学校教育課 電話 331684

「生きる力」の育成を目指し、これまでの教科の枠を超えた「総合的な学習の時間」が2002年から新設されます。多くの学校ではもうすでに創意工夫を生かした意欲的な取り組みがスタートしています。

## 総合的な学習の時間とは

これまでの画一的といわれた学校の授業を変え、

1. 地域や学校、子どもたちの実態に応じ、学校が創意工夫を生かした特色ある教育活動が行える時間
2. 国際理解、情報、環境、福祉・健康な

どの時間など従来の教科をまたがるような課題に関する学習を行える時間として、新たに設けられるものです。この時間は、知識を教え込む授業ではなく、

1. 自ら学び自ら考える力の育成
2. 学び方や調べ方を身につけることをねらいとした授業が展開されます。



2年生 お祭り調査

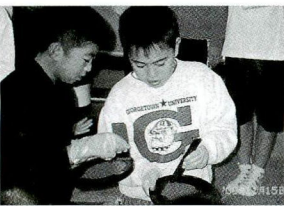
総合的な学習の時間の時間数は、小学校では3年生以上から週あたり3時間程度、中学校では週あたり2〜4時間程度です。その内容は各学校ごとに決めます。したがって教科書はありません。

## 意欲的な取り組みがスタート

総合的な学習の時間の名称は学校によって違います。小田原市の小・中学校も、「SEAプラン(セルフ・エンジョイ・アクティブ)」「千代つ子タイム」「GTO(グレイト・タイム・ODAWARA)」など、学校の特色のうかがえるユニークな名前をつけています。多くの小・中学校で、さまざまな実践が進んでいます。また、保護者や地域の方の参加により、みんなで作り上げていく学習になってきています。

なかでも大窪小学校は、早くからこの学習に取り組み、成果を上げてきています。昨年7月、10月、11月には公開授業研究会が開かれました。

また新玉小学校では、昨年11月15日に生活科と総合的な学習の時間の研究発表会を行い、全学年の授業が公開されました。1年生は幼稚園児や保育園児を招待しての「げいじゅつランド」、2年生は祭りについて調べ、自分たちのおみこしを作って迎えた「なかよしまつり」、3年生は大豆を育てるところから始まった豆腐づくり、4年生は新玉小リニエール大作戦、5年生は環境を考える



5年生 漆塗り体験



1年生 げいじゅつランド



6年生 竪穴住居づくり

なかでチャレンジした漆塗り体験、6年生は大昔の生活に目を向けた竪穴住居づくりなど、子どもの思いや発想を大切にしたい授業が展開されました。

## 期待ふくらむ 総合的な学習の時間

まだまだスタートしたばかりの総合的な学習の時間。どんな課題を取り上げていくのか、子どもの思いと教師の願いをどう結びつけていくのか、地域の方にどのように協力していただくのか、安全面の問題をどうするのかなど、課題はたくさんあります。しかし、子どもたちは総合的な学習が大好き。取り組みときの目が輝いています。教師からも「子どもたちの力を再認識した」という声があり、手応えは十分。これからの効果に期待・大です。



# 気軽にできることから始めよう

生活習慣を改善して健康づくり

市民健康課 ☎470820



## 健康づくりに役立つ保健事業

自分の健康は自分で守るのが基本ですが、保健婦も市民の皆さんの健康づくりのお手伝いをしています。

「健康づくり教室」と「女性のための健康づくり講座」では、体操やウォーキングの方法を学習したり、年間を通じて同じ仲間と健康について一緒に考えたり、話し合うことができます。なお、月1回（予約制）のすこやか健康相談では、保健婦・栄養士が相談に応じています。お気軽にご相談ください。

また、地域で行われる結核健診時の健康相談、内容別の各種健康教室など、豊富なメニューを取り揃えています。日程など詳しくは、毎月15日に発行される広報「おだわらいふ」の「健康コーナー」で紹介しています。ぜひご覧ください。

そのほか、40歳以上の方には、健診結果や健康づくりに参加した状態などの記録をしながら、ご自分の健康管理に役立てていくことができる健康手帳を、市役所・支所・連絡所、マロニエ、保健センターで配布しています。こちらもぜひ、ご利用ください。

## 健康なときから始めよう

各自が健康的な生活習慣を身につけ、定期的に健診を受ける努力を積み重ねることが病気の予防につながります。

健康づくりをしてきた人とそうでない人では、年をとったときに差が出てきます。病気になってからではなく、健康なときから始めていつまでも豊かに幸せな人生を送ってください。

## 失って、はじめてわかる健康の価値！

普段、健康のことはあまり意識せずに過ごしがちですが、ひとたびトラブルが起きたとき、はじめて健康の大切さに気がつきます。特に最近では、社会や生活の変化によりさまざまな疾病や症状を引き起こしてしまうこともあり、油断している健康を損なう危険性が増えています。

## 簡単なことから始めよう

体の調子が良いときに、その状態を維持するよう努力すれば、免疫力が増大され、いざというときに病気とたたかう大きな力となります。健康づくりは、地味でも自分にできることから始めれば、心地よい快適なものとなります。

### 〔栄養・食生活〕

高血圧、高脂血症、糖尿病などは生活習慣病と関連します。まず、食事の量と内容を見直しましょう。量の目安として、身長170cm、体重70kgくらいの人が、中程度の労働をした場合で、1日1900

0〜2225キロカロリーと言われてい

ます。また、塩分は高血圧、脳卒中、心臓病の要因になるため減らしたいもので1日の量は一般的には10g未満です。脂肪の取り過ぎは、肥満のほか、脳卒中、心臓病、大腸がん、乳がんなどを引き起こす要因となります。肉に含まれる脂肪を減らし、青い魚の脂を多くするなど、脂肪の量と質を考えて調理や取り方の工夫をしましょう。

なお、野菜の多くは、がん、脳卒中などの予防のほか、便秘、骨粗しょう症予防にもなります。特に、緑の野菜は貧血の予防に良いなどいいことづくめです。毎日できるだけ多くの野菜を取り、バランスのとれた食生活を心がけましょう。

### 〔身体活動・運動〕

生活習慣病の発生予防、気分転換、身体機能の向上などの効果があります。いつでもどこでも気軽にできるウォーキングをぜひお勧めします。1日の歩数の目標は男性9200歩以上、女性8300歩以上です。



## 〔休養・心の健康づくり〕

心の健康は生活の質をも左右します。肉体的なストレスも心に大きく影響するので、十分な睡眠を確保し、趣味を持つなど上手に気分転換をしてストレスを減らしましょう。

### 〔たばこ・アルコール〕

たばこはがんや心臓病と大きく関係します。特に未成年者の喫煙は禁物。周囲への悪影響も真剣に考えてほしいものです。今後、保健センターでも希望者への禁煙指導を行う予定です。また、飲酒も多量になると慢性的な悪影響を及ぼします。望ましい量は1日1合程度、週2日の休肝日、月に1週間の休肝週間をとりましょう。



### 〔歯〕

見落としがちな歯の健康。食生活に大きく影響します。大人の歯は28〜32本。歯磨き、定期的な健診や受診などを心がけて大事な歯を残す努力をしましょう。



## 市制60周年記念

# おだわらこどもかるた

市制60周年を記念して小田原の歴史・文化・自然・行事などを紹介したカルタが寄贈された。

### 孫の笑顔が生んだカルタ

発行者は山王保育園長の都築融光さん。読み札は市内保育園の職員8人がボランティアで協力し作成した。そのイメージを地元の創作木版画家の佐藤北久山さんが絵札にめぐりに表現し、題字は小澤市長の直筆である。

「これを作ろうとするきっかけは、孫と遊んだ群馬の上毛カルタです。孫のいきいきとした笑顔を見ているうちに「これだ」とひらめきました。幼いころから、小田原を知り、郷土を愛して健やかに育ってほしい」と都築さんはこのカルタへの思いを語った。

「平成11年12月から、スタッフ全員が忙しい仕事の合間をぬって一生懸命がんばってくれました。それに加えて、スタッフを支える各園の皆さんのあたたかい応援も大変に心強いものでした」と都築さん。



### 作業と宿題と現地調査の繰り返し

スタッフのひとり、豊川保育園園長の岩本あい子さんは笑顔で語った。「教育委員会の資料を題材に、小田原の勉強から始めました。新しい発見があり、とても楽しかったです。作業としては、保育が終るとスタッフ全員で持ち寄った読み札を検討しました。その課題は、宿題として各自の園で検討し、また持ち寄るといって繰り返しでした」と。

さらに、休日には現地に足を運んで、写真に撮り、イメージをつくる。特に歴史などは限られた文字数の中で、正確かつ園児にもわかりやすく表現することは、とても難しかったという。

「私たちの原案をもとに、彫り上げる北山さんも大変でした。北山さん自身も何度も現場に足を運んでくれたのです」と。何人もの苦勞が積み重なって、この芸術性高い「おだわらこどもかるた」が完成したのだ。

この製作に携わったすべてのスタッフの気持ちを都築さんが語った。「このカルタを取り合う子どもたちの笑顔を見れば、苦勞はもう過去のものですよ」と。



左 岩本さん、中央 都築さん。市長を訪問し、市内保育園・幼稚園のため1000組を寄贈した。

## お知らせ

### 都市計画公園の変更案の縦覧

●都市計画課 ☎331571

辻村植物公園の区域に来園者の利便性を向上させるため駐車場を追加するなどの変更をします。

なお、意見のある方は、期間内に意見書を提出できます。

縦覧期間 1月12日(金)～26日(金)

8時30分～17時(土日を除く)  
場所 市役所都市計画課(6階)  
県都市計画課

### 地方分権推進に向けて

#### 小澤市長 国へ要望

全国特別市連絡協議会の会長を務める小澤市長が自治省を訪れ、特別市に対する事務権限の拡充や財源確保の充実を求めて「地方分権推進に関する要望」を昨年12月に提出しました。

この協議会は小田原市をはじめ全国の特例市10市により昨年11月10日に設立されたもので、今後、特例市相互の連携を図り、各市が地域特性を生かしたまちづくりを進めていくために、特例市制度の充実に向けた調査・研究のほか、関係機関への要望活動を実施していきます。

また、来年4月に移行予定の20市には、協議会加入を働きかけていきます。地方分権を推進するという大きな任務を背負う会長として、小澤市長の手腕に全国の視線が集まっています。



# みんなで支える医療保険

## 今月から自己負担金が変わります

国民健康保険担当 ☎33-1835

医療給付担当(老人保健など) ☎33-1844

病気やけがは、いつだれにふりかかってくるかわかりません。もし健康保険がなかったら、高額な医療費を個人が負担するのは大変なことです。そのために、日本にお住まいのすべての方が加入して、みんなで保険料を負担しあうのが医療保険制度です。この医療保険制度が、今、大きな問題を抱えています。高齢者が増えたことや医療が高度になったことから医療費が増大し、収入と支出のバランスが崩れているのです。平成13年1月診療分から、健康保険法などが一部改正され、みなさんの負担金が変わりました。だれもが安心して医療を受けられるように、医療保険制度をみんなで支えていきましょう。

### 主 な 変 更 内 容

## 1 国民健康保険

高額療養費の自己負担限度額が変わります

医療機関に支払った医療費(保険適用分)の自己負担額が、ある基準額(自己負担限度額)を超えたとき、超えた分を支給するのが高額療養費支給制度です。(表1)

①自己負担限度額は、所得によって異なります。これまでの低所得者・一般の区分に加え、新たに上位所得者の区分が新設されました。上位所得者は、国が定める方法で計算した総所得金額が、1年で670万円以上の世帯となります。

②一般および上位所得者の区分の自己負担限度額には新たに患者の方が受けた医療サービスの費用によって、表のとおり加算額が設定されます。

## 2 老人保健

(70歳以上または一定の障害のある65歳以上の方)

これまで定額制だった負担金に定率制度が導入され、新たに、同一世帯で複数のお年寄りが入院した場合などの高額医療費の支給制度が設けられました。(表2)

(表1)

区 分		自己負担限度額
住民税課税世帯	上位所得者	121,800円+{実際にかかった医療費(10割)が609,000円を超えた場合は、超えた分の1%}
	一般	63,600円+{実際にかかった医療費(10割)が318,000円を超えた場合は、超えた分の1%}
住民税非課税世帯等		35,400円(従来どおり)

※所得の申告をされていない人は、区分が判断できないため、上位所得者として扱われますのでご注意ください。

※過去12か月以内に4回以上高額療養費を受給した世帯では、4回目の受給から上記の自己負担限度額が減額されます。

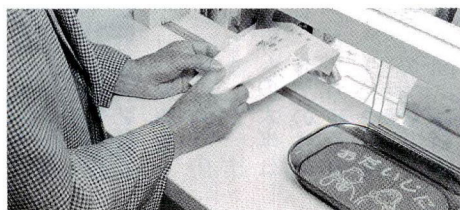
(表2)

区 分		負担割合	上限額(月)
外来	病院	200床以上	1割 5,000円(院外処方の場合は2,500円)
		200床未満	3,000円(院外処方の場合は1,500円)
	診療所	定率制	1割 3,000円(院外処方の場合は1,500円)
		定額負担制	800円/日(月4回まで負担)
院外処方の薬局	定率制の病院・診療所	1割 2,500円または1,500円	
	定額負担の診療所		なし
入院	定率制	1割	一般 37,200円 非課税世帯 24,600円 非課税世帯で老齢福祉年金受給者 15,000円
		1割	3,000円
老人訪問看護療養費	定率制	1割	3,000円
	定額負担制		600円/日(月5回まで負担)
高額療養費制度	同一世帯に属する複数の老人が入院した場合などの取り扱い *一般負担限度額37,200円/月(30,000円以上を世帯合算) *非課税世帯負担限度額24,600円/月(21,000円以上を世帯合算)		

## 3 高齢者医療費助成制度

(68歳、69歳の方)

老人保健に準じて、負担金が変わります。また、薬剤の種類や日数に応じて負担していた外来の薬剤一部負担金も、助成の対象になります。



### 医療費のお知らせ

自己負担額や保険が支払った額を合わせて、医療機関に支払われた医療費の総額などを知っていただくため、市の国民健康保険と老人保健では、年6か月を対象として、その月に受診した全世界帯に医療費の額をお知らせしています。

ご自身の医療費と医療保険制度について正しく知っていただき、健康への一層のお気づかいをお願いいたします。



魅力あふれるまちづくりに貢献

# 平成12年度

# 小田原市民功労賞は この方に！

学術・文化・福祉・産業など市民生活のさまざまな分野において功績のあった方に送られる市民功労賞、今年度の受賞は次の方に決まりました。贈呈式は1月8日に市民会館で行われます。 ☎市民交流課 ☎33-1703



## 磯崎 直美さん(曾比)

リハビリのためにアーチェリーを始められ、これまでにアジアフェスピック、ジャパンパラリンピックで優勝するなど、本市スポーツの振興に大いに貢献してこられました。

特に今年のシドニーパラリンピック大会では、5位入賞という成績を取られ、これにより厚生大臣表彰を受賞されるなど、人々に夢と希望を与えてくださいました。



## 土谷 壽一さん(栄町)

小田原城住吉橋架橋工事及び小田原城跡櫓門等復元工事について指導的役割を果たされたほか、小田原ゆかりの優れた建造物保存検討委員会委員、ふるさと小田原の建築百景実行委員会委員などを歴任、専門的な立場から、本市の歴史的建造物の保存・活用などに大いに貢献されました。

## 小田原市橋文化協会

橋地域において、30年間の長きに渡り橋文化祭を開催し、地域の人々や市民との交流を深めてこられました。地域ぐるみで芸術文化の振興に取り組むこのような活動により、地域文化の向上だけでなく小田原の市民文化の振興に大きな役割を果たしてこられました。

※なお、この賞は市民の方々からの寄付金をもとに設置した小田原市ほう賞基金により運営しています。



橋文化祭開催風景



## 小田原 彩時記

### きれいな水と森を守るために

水源地域保全のための体験教室



水の源となる森林を守り、木の果たしている役割を知ってもらおうと久野の山林で体験教室が開かれました。市内外から参加した50人近くの大半は小・中学生の子どもたち。森での作業は危険もともなうとあってどの顔もみな真剣。森林インストラクターや職員の指導のもと、大人顔負けの力強さで間伐を行いました。作業の間には地球博物館の学芸員による森の役割についての説明があり、初めて知る人間と自然との関わりに熱心に耳を傾けました。作業が終わると、間伐材を使っての

クリスマスリースやだるま落とし作り。先ほどとはガラリと変わって楽しそうな笑顔がいっぱい。みんなと力を合わせ、勉強もした、大いに自然と触れ合った一日でした。





# まちで見かけた 小田原の建築物

城下町、宿場町として栄え、明治期には政財界や文学者たちの別荘、保養の地として発展してきた小田原。

古い武家屋敷や農家、町屋のたたずまいは、明治以降の別荘とともにほどよく調和し、小田原独特の情景をかもし出しています。普段何げなく通り過ぎてしまう建物から、小田原文化の魅力を探ります。

建築士 平井泰延(栄町)



## 【内野邸(板橋)】

内野家の現当主内野悦郎氏の祖父種三郎氏「1860(万延)元年生まれ」が、分家して醤油屋を営むようになり、現在の店舗・居宅・蔵を新築したのは、1903(明治36)年であった。

関東大震災で倒壊・焼失を免れ、加えて変遷の激しい商家で、今に残っているというので、小田原で蔵付商家の貴重な建物となった。

この建築にあたり、施主種三郎が、実に綿密な「明治参拾五年新築費支拂帳」を書き留めている。それによれば、この時新築されたのは、店舗兼住宅と店蔵・文庫蔵・穀蔵であった。また、「材木買入」の第一行に、「明治二十七年湯本橋古ケヤキ買入代金、参拾壹円」などと、こまごま墨書されている。

店入口の両脇の構えは、上が和風の「なまこ壁」、腰は洋風の石積み壁である。右手脇入口の上にもアーチをつけるなど、全体が蔵造り風だが、少し洋風も取り入れている。

住居内部は、思ったより質素な造りで、なかでも目につくのが、2階客間の本床脇の書院障子で、中央に海辺の干し網を置き、左右に浮き雲を配したこまやかな細工がみごとである。また、部屋境の欄間の細工も見栄えがよい。

(註)なまこ壁⇨土蔵などの外壁に方形の平瓦を張り、その目地を漆喰で盛り上げた壁。



## 【正恩寺・鐘楼門(本町)】

この寺は法性山妙賢院と号し、浄土真宗大谷派本願寺の末寺で、はじめは尾張国(愛知県)に創建されたものである。

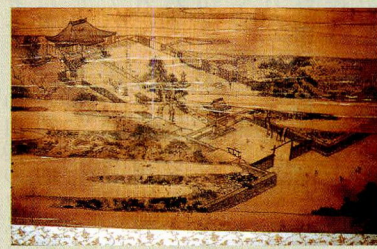
後に三河国(愛知県)に移された。1590(天正18)年、遠州(静岡県)の大久保忠世が小田原城主に転封になった際、その子忠隣(のちの忠勝)の夫人妙賢院が、日ごろ帰依する正恩寺の僧信賢を小田原に招いた。1593(文禄2)年には、三河に在った寺をこの地小田原に移し、尾三相(尾州・三河・相模)三転の道場と呼ばれた。

現寺院の「鐘楼門」は、1793(寛政5)年、当山八世了全により再建されたものであり、楼門の上には、1750(寛永3)年に造られた大鐘があったが、1943(昭和18)年に供出されたまま還らず、現在は空楼となっている。

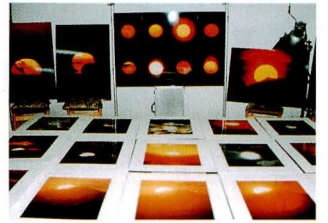
鐘楼内側には、彫りものの「扁額」がある。櫻造り、入母屋、瓦葺屋根、廻廊が付いていて、外観の容(かたち)の良しい山門である。

寺内に、作家吉川英治の先祖(小田原藩士)の墓が発見された。小田原市指定重要文化財(建造物)

(註)扁額⇨家の出入口や室内にかける細長い板額。







# 米神沖から昇る旭日

撮影：野村英男



↑米神からの日の出。太陽は水平線を出るときに、ゆがみ、空に上がるにつれて丸くなっていく。

→自作の3000ミリ特別製超望遠レンズ。ベルビア5×7インチ。フランス製活動写真用三脚パルボ

天候・雲・風・気温などのわずかな気象状況に左右される日の出の撮影は、プロでも10回に一度、成功すればよいと言われている。

「小田原と私の相性は、ばっちりです。代表作の多くは米神から撮る日本一の日の出。輝きの中に天地創造をも彷彿とさせるドラマが始まります」と野村さん。美空ひばりの専属写真家などの傍ら、太陽を追いつづけた歳月は45年にもなった。その大ベテランのホームグラウンドは、今でもドラマチック小田原。

「19年に一度しか出会えない部分日食の日の出のときなど、米神のすべての自然が味方して、私に最高の作品をもたらしました」と誇らしげに話す。

少年の日の美しい太陽との出会いは、やがて感動をとらえる特殊なレンズと運命のように遭遇した。さらに、松竹の撮影技師長をしていた父親の関係で、フランス製の名機パルボ三脚と出会う。その後、25年の試行錯誤を重ね、世界に1台しかない3千ミリの超望遠カメラを完成させた。その自慢のカメラのおかげで直径3cmにも膨れた情熱的な太陽の表情をとらえることができるのだ。

最後に野村さんは、こう結んだ。「太陽は約数十億歳。それに比べたら人類の過ごしてきた時間はごくわずか。作品の美しさとともに地球環境の大切さ、太陽への恩恵を訴えることができたら幸せです。米神は日本一の日の出の名所であり、小田原の観光資源であると思います。これからは作品を通してメッセージを送り続けます。いつも力をくれる小田原に恩返しをしたい」。

このコーナーでは、映画・絵画・写真・小説・詩などの作品に登場する小田原を紹介しています。小田原が扱われている作品をご存知でしたら、市広報広聴室までお知らせください。

**野村英男さん**  
69歳、東京都在住、写真家。「太陽を撮る全国展」開催。NHKハイビジョン作品「THE SUN」を制作放送。全国500万人が鑑賞し、感動の便りが寄せられた。代表作品は米神海岸で撮影した日の出。フィリピン・ピナツボ火山噴火の影響を受け、異様に赤い太陽が各方面で話題となった。





# 輝く小田原人

心に響く最上級のハーモニー

## マルベリー・チェンバークワイア

平成12年全日本合唱コンクール全国大会でのマルベリー・チェンバークワイア。会場は北海道札幌。



全日本合唱コンクール  
全国大会金賞を受賞。

東京駅にこだまする澄んだ歌声。足早に家路を急ぐ人の足が止まり、そしてどれもが振り返った。おだやかな空気が流れ、歌声が人々の心を深く打った。

11月30日に行われた「～小田原発～童謡コンサートin東京ステーション」で的一幕。声の主はマルベリー・チェンバークワイア。同じく出演した小田原少年少女合唱隊とともに、日本を代表する小田原生まれのハーモニーが、都会の雑踏を行き交う人々にやすらぎを与えた。

マルベリー・チェンバークワイアは、小田原少年少女合唱隊のOB・OGを中心とした、男声11人、女声14人の混声合唱団。平成12年全日本合唱コンクールに

関東代表として出場し、約1,900の参加団体の中から見事に金賞に輝いた。もとは女声合唱団であったマルベリー・クワイアと男声合唱団のメルクワイアが一緒になったもので、彼らの歴史は意外と浅い。正式に今のかたちになったのは平成10年のことだった。その年彼らは、いきなり全日本合唱コンクール全国大会に出場を果たし、金賞を受賞した。マルベリーは一躍その名を全国に知らしめたのだ。

「小田原のレベルは全国的にも非常に高いです。ステージでは小田原から来たことをいつも誇りに感じています」。

練習は月に数回程度。社会人の集まりであるがゆえ、メンバー全員が集まるのは容易ではない。しかし、彼らの情熱は

すべてのハンデを上回る。自分が感動できる歌が歌えれば必ず最高のものになる。

指揮者でもある桑原妙子さんの指導のもと、歌が好きで集まった仲間たち。「合唱の魅力は1+1が3にも4にもなること。童謡のまち、合唱のまちの一員として、これからも歌い続けていきたい」と笑顔で話す彼ら。次の感動を求めて今日も歌い続ける。

# 城下町おだわらツデーマーチ

## 今年も大好評！

全国から集まった7664人が小田原路を歩く



昨年に続き、2回目の開催となった城下町おだわらツデーマーチが11月18日・19日に行われました。今年の1番乗りは、30kmコースに参加した藤沢市の石井さん。朝の5時過ぎに自宅を出て、6時半にはスタート地点に到着したそうです。

今回は、オールジャパンウォーキングパスポート神奈川県認定大会となったこともあり、全国からウォークファン7664人もの方が参加され、大いに盛り上がりました。また、18日を市内公立の小・中学校の休校日としたことで、多くの小・中学生の参加が目を見ました。

スタート・ゴール地点の銅門広場のとなり、二の丸広場では、農業まつりが同時開催され、ゴールしたウォーカーたちは、小田原の農産物に感激。小田原を満喫していただきました。

第3回は11月17日(土)・18日(日)に開催予定。



今年の1番乗りの、藤沢市の石井さん



農業まつりで大人気だった手作りの竹細工ゆらゆらトボン。風に揺られてゆーらゆら。



王様の料理人からの熱きメッセージ

「小田原の21世紀をイメージして、こんな料理を作ってみました！」  
と話してくれたのは、城下町大使として小田原をPRしてくださっ  
ている剣持恒男さん。21世紀の幕開けにあたり、小田原のためにさ  
らなる飛躍をイメージした特別料理を作ってくれました。

# 21世紀は 小田原の時代！



城下町大使  
剣持恒男さん



## タイトルは「2001年のあけぼの」

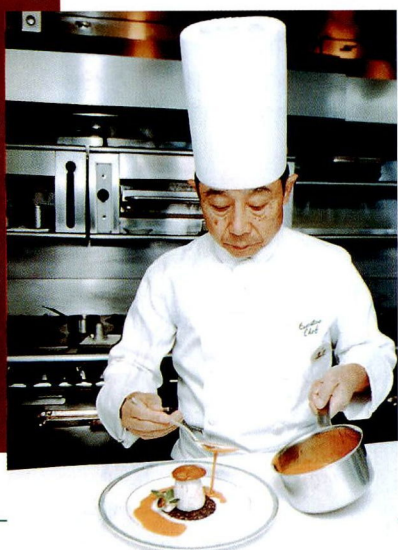
剣持さんが作ってくれたのは、お正月のお飾りでもおなじみ、めでたいイメージの象徴である伊勢エビを使ったテルミドール（グラタン）と、あわびのムニエル。「2001年のあけぼの」と命名された。伊勢エビはもちろん小田原産。江之浦・根府川・米神といった磯海岸で伊勢エビはよく捕れる。また小田原産あわびは活きがよく、市場では大人気の逸品なのだ。

「ゴックさんは『おいしかった！』と言われるのが一番のしあわせ。その声を聞きたくて毎日がんばってきた。明日もあさっても、そのためにがんばるよ」と話す剣持さん。昨年7月に開催された九州・沖縄サミットでは、ワーキング・ディナーなどさまざまな場で剣持さんの料理が各国首脳をもてなし、世界のVIPが舌鼓を打った。アメリカの大統領は来日するとホテルオークラに宿泊し、剣持さんの料理を食する。フランス料理の名家・シラク大統領もまた剣持さんの料理のファンである。

## いつか、小田原のために

「子どものころ、よく親父の自転車の後ろに乗せられて国府津の海岸に魚を捕りに行ったよ。楽しかったねえ。小田原は落ち着いた静かなまちで今でも大好きだよ」。戦後の物のない時代に「ホテルに勤めればおいしい物が食べられる」と料理人を目指した一人の少年が、フランス料理の道を極めた。

「21世紀は世界を見ること。時代は常に変化している。変えられるものは変えていくことが大切。しかし守るべきものもある。私はホテルオークラの味を絶対に守り続ける。小田原も伝統のあるまちだから守るものも多いはず。料理とまちづくりは共通点が多いですね」と剣持さん。いつか小田原で家庭料理の教室をやりたいな、と言って笑った。「2001年のあけぼの」は、まさに剣持さんから21世紀の小田原へ向けてのメッセージだった。



剣持恒男さん

株式会社ホテルオークラ常務取締役・総料理長。小田原城下町大使。全日本司厨士協合理事、エスコフイエ協会日本支部副会長など役職多数。また、全日本司厨士協会アカデミー賞金メダルほか受賞歴多数。